

ジョリパット不燃  
JQ-200シリーズ  
ふじ仕上げ  
施工の手引き

平成19年5月25日【初版】

アイカ工業株式会社  
第二R&Dセンター  
建設樹脂開発グループ

<使用材料>

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-500	水性タイプアクリル系 1液型透明シーラー	18kg石油缶	約51.4㎡/缶
主 材	ジョリパット不燃 JQ-200シリーズ 標準色 JQ-200、JQ-□□□□ (□…数字) 特注色 JQ-200△○○○ (△…英字、○…数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg缶	約 8㎡/缶

<主な施工道具>

- ・ マスチックローラー※ (ジョリパットローラーJR-20:9インチ) 又は、ステンレスゴテ
- ・ ふじローラー (ジョリパットローラーJR-51:9インチ)  
※マスチックは全国マスチック事業共同組合連合会、株式会社マルテ大塚の登録商標です。
- ・ リシンガン (口径 4~6mm) ※※
- ・ コンプレッサー (2.2kW (3馬力) 以上:1台使用の場合) ※※  
※※下塗りを吹付けで施工する場合。

<下地調整>

標準下地は、石膏ボード (プラスターボード) 又はモルタルとする。

## <ふじ仕上げ施工方法>

### 1. シーラー塗布

配 合	JS-500	18kg
	清 水	18ℓ
塗 布 量	0.07kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

3時間以上48時間以内

### 2. 主材 下塗り

配 合	JQ-200シーズ <sup>®</sup>	20kg
	清 水	1.5~2ℓ
塗 布 量	0.6kg/m <sup>2</sup>	
吹 圧 力	5~7kgf/cm <sup>2</sup>	
使用ガン	リシガン口径φ4~6mm	
	※左官業者の場合は、ジョリパット不燃を無希釈で0.6kg/m <sup>2</sup> となるよう金ゴテで平滑に塗布する。(下ごすり)	

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

◎乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

### 3. 主材 配り塗り

<塗装業者の場合>	
・ ジョリパット不燃を無希釈で1.7kg/m <sup>2</sup> となるよう、マッシュローラーを上下・左右にローラーを転がし、均一に配り塗りを行う。(ムラ切り)	
<左官業者の場合>	
・ ジョリパット不燃を無希釈で1.7kg/m <sup>2</sup> となるよう、ステンレスゴテで均一に配り塗りを行う。	

追かけ塗り(5分以内)

### 4. パターン付け

・ 配り塗りしたジョリパット不燃が乾燥しないうちに、ふじローラーJR-51を上から下に転がし、縦パターンを付ける。次に、横方向にローラーを転がし横パターンを付ける。(図-1)
・ 塗り継ぎ部分は重ね合わせないでパターンを付ける。(図-2)

24時間以上放置して乾燥させる。

### <施工のポイント>

- ・ 力を入れず、ふじローラーJR-51が回転するようにしてパターン付けする。
- ・ ふじローラーの溝にジョリパット不燃がたまらないよう、常にきれいに保つ。溝にジョリパット不燃がたまった場合は、ブラシなどで洗浄すると、再びきれいなパターンができる。
- ・ パターン付けは最初にあふじローラーを上から下へ転がし、次に横方向へ真っ直ぐローラーを転がす。(図-1 ①、②)

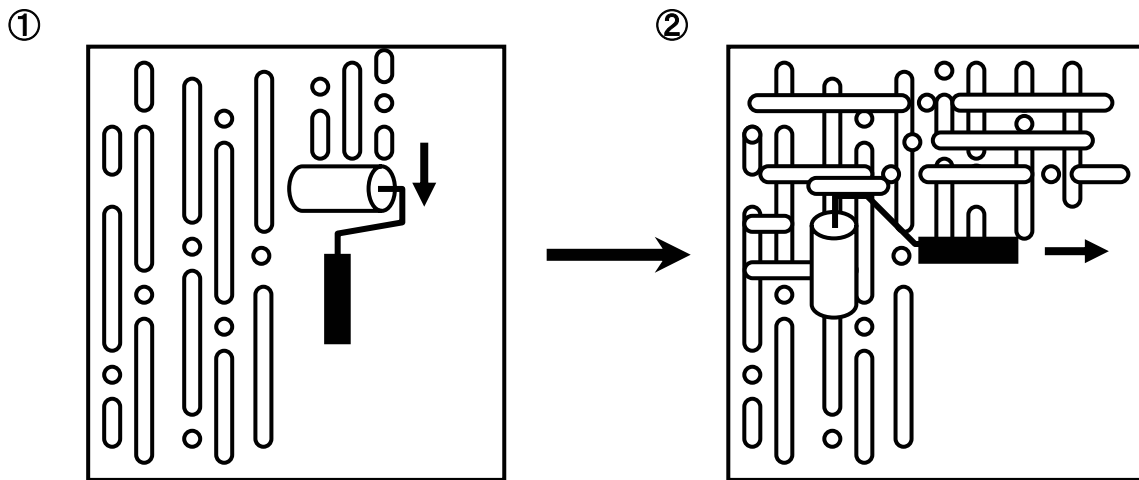
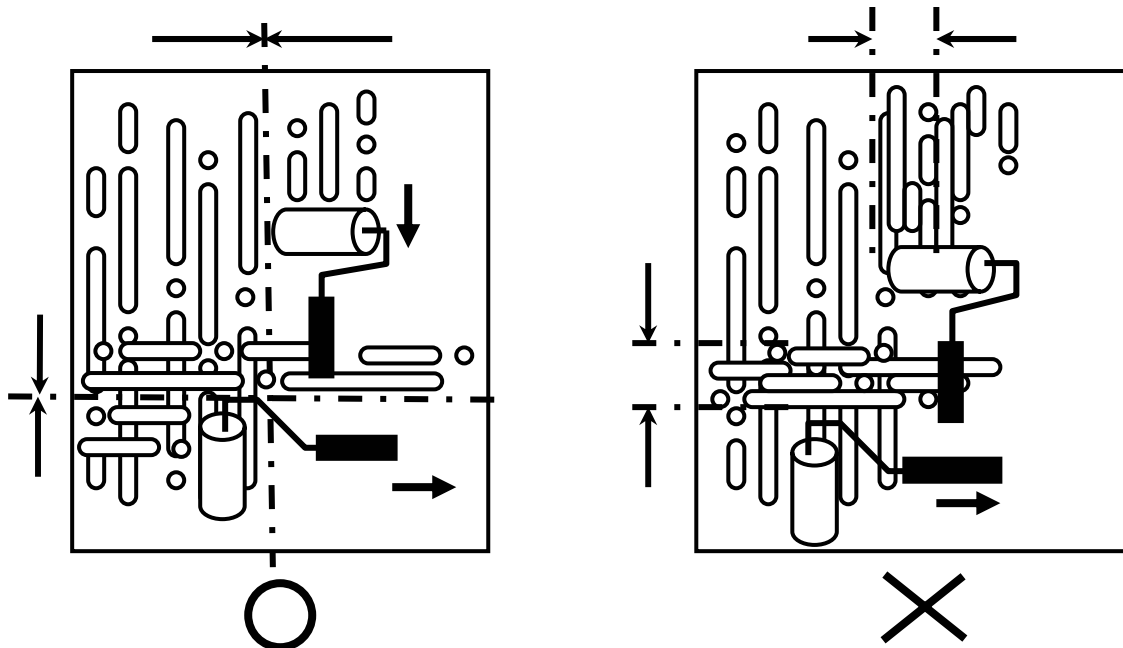
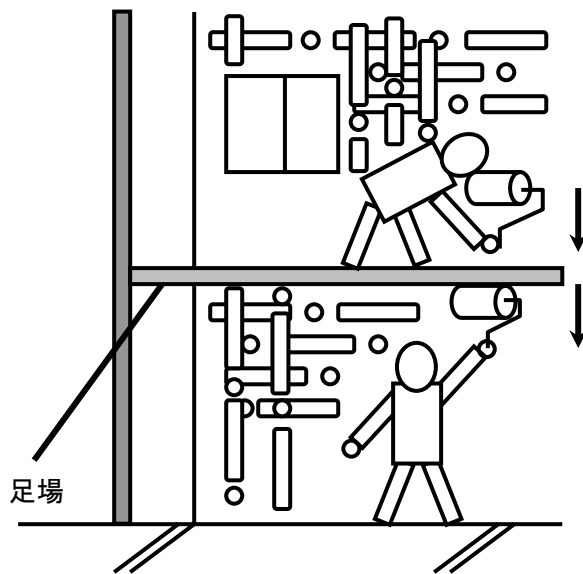


図-1



塗継ぎはローラーを重ねない。

図-2



足場の部分で縦に塗り継ぐ場合は、足場の上と下で時間をあけないよう2～3人で組んで施工して下さい。ジョリパット不燃の表面が乾燥して皮がはる前にパターンをつないで下さい。(皮ばり後にパターン付つなぎを行うと、汚くなり継ぎが目立ちます。)

図-3

### <施工の注意事項>

- ・ 施工場所の気温が5℃以下、湿度85%以上の場合、原則として施工を行わないで下さい。やむを得ず施工する場合は、採暖などの養生を行って下さい。
- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。(特に大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進める。

以上

※ 塗板見本は、すべてコテ配りで作成しています。施工現場においてローラーで配る場合は、塗板見本と仕上がりが若干異なりますので注意して下さい。